

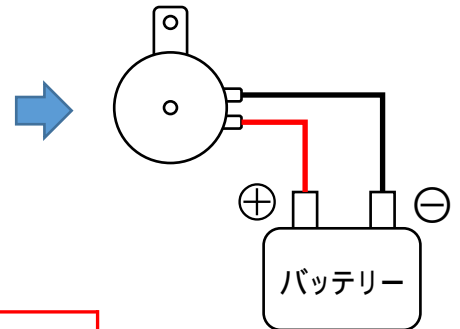
ホーン不吹鳴チェックシート(アルファードホーンなど)

配線を延長している場合、
接続部の接触不良が原因
となる場合があります。
特に注意して確認ください。

ホーンが鳴らない

ホーンの端子に配線を接続し、
バッテリーの端子(+、-)へ
それぞれ接触させ、ホーンが鳴るか
確認してください。
(ホーンの端子に極性はありません)
**配線を接触させた瞬間、ホーンが
吹鳴しますので、注意してください。**

接続イメージ



ホーン単体で鳴る

車両側のホーンヒューズは
切れていませんか。

ホーン単体で鳴らない

何らかの原因でホーンが故障
していると思われます。

ヒューズは切れていない

ホーンの接続方法に問題が
あると思われます。
純正ホーンの端子数を確認
してください。

ヒューズが切れている

ヒューズを交換してください。
またヒューズが切れた原因を確認し
てください。(配線被膜の切れなど)
ヒューズを交換しても鳴らない場合
は、左記へ進んでください。

純正ホーンが2つの場合

車両側配線の接続状態に
問題がないか確認し、
吹鳴確認してください。

純正ホーンが1つの場合

車両側の容量不足が懸念されます。
リレーハーネスの使用を推奨します。
ホーンハーネスを使用している場合
SZ-1027 / 1133使用時の不吹鳴
チェックシートを確認してください。

ホーンが鳴らない

アース線をボディーアース(車体)へ
接続している場合は、接続位置を
(バッテリーのマイナス端子など)
変更し、吹鳴確認してください。

ホーンが鳴るようになった

対応終了
配線が他の機器と絡まないよう
整理して固定してください。

まだホーンが鳴らない

純正ホーンの端子数確認以降
を再度確認してください。

ホーンが鳴るようになった

対応終了
配線が他の機器と絡まないよう
整理して固定してください。